

世間を不安の中に陥れた地下鉄サリン事件から、オウム真理教騒動は

今や、国民の最大の関心事として君臨している。

テレビの各ワイドショ

ーはもちろ
んのこと、
夜のゴール
デンタイム

にもあちこちの局でオウム特番が放送され、ニュ

ース番組では特集が組まれて、いずれも高視聴率を得ている。テレビ局としては、とくにゴールデンのスペシャルにしては、使い回しの取材VTRを使用しているので、

司会者とゲストコメントーターの出演料とスタジオのセット代ぐらいいし制作費用がかからず、その割に確実に高視聴率が

とれるので、ますますオウム特番を放送するといわなければならない。

もちろんそこには、謎(なぞ)に包まれたオウム真理教に対する国民の

オウムよりもっと怖い核のゴミ

き嬢の所屬事務所社長との不倫会見も、いつもならビッグニュースとなる

ワイドショーなのに、オウム旋風に吹き飛ばされてほとんど放送されない

ことになってしまっている。何度もくり返し見ていると、その内容よりも「なんとなくすてき」とか「かわいい」などと親しみを持ってしまう、その恐ろしさも送り手は注意

代わってワイドショーのスターとなっているのが、オウム真理教の上祐外報部長とゲストコメントーターたちである。

それにした
でも、サリ

ジャーナリスト、宗教評論家、弁護士、作家などのコメントーターは、きた高レベル放射性廃棄物だ。

朝から夜までかけもち出演でテレビ局を走り回っている。上祐氏などは、追っかけ風に花やカメラを持った女性ファンまでいるのには全く驚く。

テレビはどついても視覚に強く訴えるメディアなので、事柄の正確さより情緒を伝えてしまっ



談放 言いたい

井波由起子

(リポーター)